



園長便り



2021年4月30日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会附属 石川三育保育園

皆様いかがお過ごしでしょうか。入園・進級式から早くも一カ月が経ちました。初めての保育園に慣れずに泣いていたマリア組のお子さんも少しずつなれ、笑顔を見せるようになってきました。ヨセフ組さんは園庭で元気に遊び、お友達や先生と仲良くなってきました。サムエル組さんは先生のかげ声を聞いて、自分たちでお片付けやお着替えができるようになってきました。ダビデ組さんとモーセ組さんは聖書のクラスで一生懸命お話を聞いてくれています。また、モーセさんは初めて聖書を自分で読んでいます。慣れない漢字は振り仮名を見て、一生懸命に読んでいます。これからもぐんぐん成長していく姿を見るのを楽しみにしています。

先日、保育園では、鯉のぼり掲揚式をしました。今も園庭では鯉のぼりが元気に泳いでいます。昔は武家の家で梅雨の合間に子どもの成長を願い庭先に鯉のぼりを掲げたようです。晴れ間に鯉のぼりが風をうけてなびき、勢いよく泳ぐところは、親の子どもに対する思いかもしれません。

さて、5月はホームシックにかかりやすい時期だといわれます。最近では五月病と言われることもあります。この原因は学校や職場でのトラブルなど、新しい環境に慣れるのにストレスを感じるからと言われています。子ども達においては、これを解決する良い方法があるそうです。それは友達を作ることです。

子ども達は保育園の中で、初めての社会を経験します。同じ年の子と楽しく遊ぶこともあれば、嫌な思いをしたり、喧嘩をすることもあります。それらの経験の中で、お友達と仲を深め、成長していきます。子供は遊びながら社会に必要なものを学んでいくのです。

社会生活1年目の保育園の園児たちはどのようなスタートを切ったでしょうか。神様からいただいた素晴らしい才能を活かし、お友達と仲良くなった良いスタートを切ったことと思います。この5月も多くの経験をしながら、すくすくと成長していきましょう。

「友の振りをする友もあり、兄弟よりも愛し、親密になる人もある。」(箴言 18:24)

石川三育保育園 園長 松下晃大

